

## <目次>

1. エコネットひがしひろしま
2. 呉・東広島シェアリングネイチャーの会
3. 近畿大学工学部建築学科建築計画研究室
4. かつばのおうち
5. 広島大学総合博物館
6. エコINNくろせ
7. ひがしひろしま環境家族
8. 賀茂プロジェクト
9. (株)日興ホーム
10. 西条・山と水の環境機構
11. 安藤忠男 (個人会員)
12. 八本松住民自治協議会
13. なんじゃもんじゃの会
14. 吉原振興会
15. 小谷自治協議会 重兼を住みよくする会
16. 木谷自治協議会
17. ひがしひろしまモバイルミュージアム

# 1

## エコネットひがしひろしま

### 組織の概要

市民・事業者・団体と市が連携・協力して、環境問題の改善に向けた実践・啓発活動に取り組み、持続可能な社会の実現をめざしたまちづくりを推進することを目的として、平成22年7月16日に設立しました。また平成23年に策定された東広島市環境基本計画において、エコネットひがしひろしまは市民・事業者の取り組みの推進や進捗の評価を行う組織として位置づけられています。

具体的な活動内容は、エコクッキングの開催や環境・温暖化問題に関する出前講座、農業体験、簡易な省エネ診断、各種イベントへの出展など、地球温暖化対策にとどまらず幅広い活動を行っています。

### 2022年の活動

#### ◆ 里山デイキャンプin豊栄

日時：7月30日(土)

会場：小石川観光りんご園と生活の森

対象：市内全域の家族

内容：「里山探検ツアー」「竹の水鉄砲と紙鉄砲づくり」「森林ヨガ」「テントサウナ」「ピザ焼き体験」「ハーブ虫除けづくり」など今年度は豊栄支所にて企画展「県央に自然史博物館がやってくる!？」が開催され、デイキャンプ当日には両会場を結んでスタンプラリーが行われた。「里山探検ツアー」は親子で里山の動植物の観察ができ大好評でした。



## ◆ マイクロプラスチックストーリー上映会

ニューヨーク、ブルックリンの5年生たちが世界的に課題のプラスチック汚染問題を学び、彼らの視点でこの問題の根幹が何かを問いただし、解決に向かって自分たちのコミュニティからアクションを広げて行くまでの2年間の追った長編ドキュメンタリーをオンライン上映とオフライン上映会を開催しました。

①オンライン上映 10月16日～22日 視聴者35名

②オフライン上映会10月16日午後2時～ 参加者 17名

東広島イノベーションラボ・ミライノ+を会場に開催。

海洋プラスチック問題に関心を持ってもらうためたくさんの方に視聴してもらおうと開催したが、PR不足なのかオンラインもオフラインも低調でした。オフライン上映会では参加者全員の感想を聞くことができ、中でも6歳の保育園児の母親の言葉が印象的でした。

「6歳の子どもも保育園でSDGsについて学び、自分でできることとして食べ物を残さず食べる努力をしている。しかし、高齢者の中には未来のことなどどうでもいいような暮らし方をしている人がみられる。子どもたちに2030年も2050年も生きていける持続可能な環境を残してほしい。」という言葉で、私たち大人が真剣に問題解決むけて取り組まなくてはいけないと感じた上映会でした。

エコネットひがしひろしま企画イベント

### 映画上映会

マイクロプラスチックストーリー  
ほくらが作る2050年

エコネットひがしひろしまでは、SDGsの14のゴール「海の豊かさを守ろう」について、市民としてできることを探るため、映画「マイクロプラスチックストーリー」の上映会を開催します。

～映画の紹介（上映時間：79分）～  
ブルックリンの小学5年生の生徒たちがプラスチック汚染問題を学び、解決に向けて自分たちのコミュニティからニューヨーク全体へアクションを広げていく2年間の追ったドキュメンタリー。まっすぐな子どもたちの視点を通して、汚染問題の現状と未来へのヒントを解き明かす。

日時：2022年10月16日（日）14:00～16:00（13:30開場）

場所：東広島イノベーションラボ・ミライノ+  
（広島県東広島市西条町10-10）

参加費：無料（要申込。定員30名）

申込方法：下記問合せ先に、電話、メール、LINEのいずれかで申込して下さい。

申込締切：2022年10月10日（月）

【上映会参加希望】と明記のうえ、下記内容をお知らせ下さい。  
・参加者氏名（複数人の場合全員）、  
・代表者の連絡先（電話番号またはメールアドレス）

【当日参加できない人もオンラインで（無料）鑑賞できます！】  
視聴可能期間：2022年10月16日（日）13:00～10月22日（土）24:00  
申込方法：上記と同じ（「オンライン鑑賞希望」と明記下さい）。  
「視聴用リンク」と「パスワード」をお送りしますので、ご都合の良い時間に、各自ご視聴ください。

LINEからも申し込みます！

<申込み・問合せ先>  
エコネットひがしひろしま 事務局  
（東広島市環境先進都市推進課内）  
TEL：082-420-0928  
E-mail：go.eco.me@gmail.com

## ◆ みんなでビーチウォークin安芸津木谷

東広島市で唯一海のある町「安芸津町」で、海の生物を観察しながら海洋ゴミ拾いをするイベントを開催しました。

日時：10月23日（日）13:30～16:00

場所：木谷地域センターを出発⇒赤崎集会所近辺まで

参加者：約70名（一般参加者：53名 木谷自治協：10名 他）



中国新聞・プレスネットなどのメディアでイベントを紹介してもらい、定員50名を上回る申し込みがあり、お断りするという事態もありました。高齢者から幼児までと幅広い年代が参加してくださいました。天候にも恵まれ、海の生き物観察も大好評で、ゴミも軽トラ2台分を回収できました。参加者からは来年も開催してほしいという声がたくさん寄せられました。

NHK-BSの番組「こころ旅」のスタート地点が、私たちがゴミを回収したばかりの所であったという後日談もありました。

## ◆ ひがしひろしま環境フェア2022

日時；10月30日(日)

場所：西条中央公園

「ひとりひとりが考えるゼロカーボンシティ」という副題で開催され、エコネットひがしひろしまは「おしえて！あなたのエコ」というアンケートを実施しました。

「水や電気を大切に使う。」「ゴミを出さないようにする。」

「薪ストーブを使って化石燃料の使用を減らす。」というものまで51件の回答がありました。



## ◆ エコネットひがしひろしま交流会

～薦田直紀氏を偲んで～繋がったひとたちの活動報告会(副題)

日時：11月23日(水) 14:00～16:00

会場：賀茂泉館4F 泉ホール

2020年7月31日に開催して以来の交流会になりました。

2020年11月23日に突然の病で亡くなった当会の顧問薦田直紀氏を偲んで、薦田氏と繋がって活動してきた皆さんにお越しいただき、その関わりと現在の活動についてそれぞれ発表していただきました。

久しぶりの再会ということもあり、会員同士が、また持続可能な環境を守る活動をしてきた人たちで交流会は大いに盛り上がりました。



《所在地・連絡先》

〒739-8601

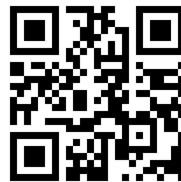
広島県東広島市西条栄町8番29号

東広島市役所生活環境部環境先進都市推進課内

TEL 082-420-0928（環境先進都市推進課）

ホームページ <http://hgh-eco.net/>

E-mail [go.eco.me@gmail.com](mailto:go.eco.me@gmail.com)



ホームページ



LINE

## 2

## 呉・東広島シェアリングネイチャーの会

### 組織の概要

本会は、環境教育プログラムであるシェアリングネイチャー活動を普及・実践する団体である。日本シェアリングネイチャー協会に属する組織で、広島県内には広島県シェアリングネイチャー協会がおかれ、県内5ブロックに分かれているなかの1ブロックを担う。全国には数千人規模のリーダー登録者がいるが、実際に定期的活動をしている者は少なく、本会の場合、実働しているのは数人である。

#### < 普段の活動 >

活動は、ネイチャーゲームというアクティビティを通じて、自然を体感し、共感する気持ちをもち、また、自然を大切にする行動をとる人の輪を広げていくことを目的としている。

東広島市内での活動は、5月と10月に広島大学総合博物館のフィールドナビとして、ネイチャーゲームを通じた自然体験を行っている。6月のひろしま山の日では、東広島会場である龍王山で、ネイチャーゲームのプログラムを提供している。その他に、要請があれば、小学校や幼稚園・保育園などで指導を行うこともある。この10数年はほぼ同じような活動を続けてきている。マンパワー的にこの活動を拡張するのは難しいのが実際である。

### 2022年の活動

・2022春の会（全国一斉シェアリングネイチャーの日）

参加者21人＋リーダー3人

5月14日（土）：広島大学総合博物館との共催（フィールドナビ）

コロナで参加人数を絞って実施した。実施したアクティビティは「音いくつ」「サウンドマップ」「木のセリフ」「フィールドビンゴ」。コロナもあり聴覚系中心。音いくつからサウンドマップをして再度音いくつをやったら、拾えた音が2度目で5割増しになった。フィールドビンゴは安定の盛り上がり。



- ・ひろしま山の日・東広島会場2022 参加者約90人+スタッフ3人  
6月6日(日)：午後から雨の予報だったが10時ごろから降り始める。山作業は1時間で終了。ネイチャーゲームは、9時半～10時半に緑の少年団60人を対象に、フィールドビンゴ(木)と木のセリフを行った。10時50分頃から11時半頃まで、山の作業が切り上げになってすることがなくなった大学生20数人を相手にノーズと動物交差点を急遽行う。午後は12時50分から14時まで、学生13人を対象にフィールドビンゴ(木)を使って雨の遊歩道を歩く。
- ・2022秋の会（全国一斉シェアリングネイチャーの日）  
参加者52名+スタッフなど9人  
10月15日（土）：広島大学総合博物館との共催（フィールドナビ）：参加した子どもは平均すると小1前後。対応するためにスタッフも多め。協会のボランティア6人と、博物館のスタッフ1人と学生スタッフ2人。ジャンケン落ち葉集めと、フィールドビンゴと、マイクロハイクを実施。子どもは、かなりのテンションで弾けていました。ゲームはゲームとして、一部の子たちはコオロギ祭りに興じていました。フィールドビンゴでは鳥の巣を見つけました。ウルシとスズメバチの観察もあわせて。

## 2023年に予定している活動

- 3月：ネイチャーゲーム・リーダー養成講座  
（広島大学会場）
- 5月：春の会（広島大学総合博物館と共催）
- 6月：ひろしま山の日・東広島会場2023
- 10月：秋の会（広島大学総合博物館と共催）



住所：東広島市鏡山1-7-1

広島大学人間社会科学研究科（総合科学部） 浅野敏久

電話番号：082-424-6364

ホームページ

日本シェアリングネイチャー協会 <https://www.naturegame.or.jp/>

広島県シェアリングネイチャー協会

[https://www.naturegame.or.jp/about\\_us/group/hiroshima/000996.html](https://www.naturegame.or.jp/about_us/group/hiroshima/000996.html)

入会方法：上記ホームページ参照。指導員の資格取得が必要です。

会費：呉・東広島の会は1000円/年

（ただし日本シェアリングネイチャー協会の会費は別）

## 組織の概要

### 【かやぶき古民家再生プロジェクト】

古来より長い時間をかけて、先人によって培われてきた我が国独特の建築様式である『茅葺き民家』は、その防火性能の弱さや職人の減少、住民の価値観、ライフスタイルの変化などにより、全国的に消滅し続けています。残されている民家も、その多くはトタンや瓦で覆われ、茅の表情を残している民家は希少です。こうした中、東広島市には茅が露出している民家がまだ多く現存しています。しかしながら、市民の茅葺き民家の価値に対する意識は決して高いとはいえ、他の地域と同様に減少の一途をたどっているのが現状です。本プロジェクトは、学生が主体となって、地域住民、茅葺き職人らと連携を図りながら、現存する茅葺き民家の保存・再生に向けた活動を行うものです。

#### < 普段の活動 >

- 4～11月 茅葺き体験ワークショップ（不定期）  
古民家内装リノベーション（1回／2ヶ月程度）  
12月 茅刈り（茅採取）ワークショップ

## 2022年の活動

ユネスコ無形文化遺産「伝統建築工匠」 茅刈り（茅採取）ワークショップ

日時：2022年12月10日（土）10：00-15：00

場所：東広島市志和町別府

内容：茅葺き民家の屋根の材料となる「茅場」をつくるための「茅刈り（茅採取）」体験ワークショップを行いました。

参加人数：約30人

共同主催：かやぶき屋根のちいさな図書室“ほたる荘”

地域活動団体 縁もゆかりも

Earth Building・広島茅葺屋根工事店



## 2022年活動の写真



## 2023年に予定している活動

2023年も一般参加を募って、茅刈り（茅採取）ワークショップを実施します。

住所：東広島市高屋うめの辺1

近畿大学工学部建築学科建築計画研究室

電話番号：082-434-7384

ホームページ：

<https://archi.hiro.kindai.ac.jp/laboratory/APL/kominka.html>

### 組織の概要

広島大学・大学院の中で自然環境に関心を持っている学生で結成している団体。川は色々な生き物の住処であることから、川の生き物を代表して、“かっぱのおうち”と名付けられました。黒瀬川が、子どもが安心して遊べるくらいキレイになればとの願いから、地域の方にもっと知ってもらい、好きになってもらうために、・黒瀬川をあるこう（自然ハイク）・黒瀬川流域ガイドブックの作成・環境イベントへの出展などの活動を地域の方と一緒に実践していきたいと考えています。

### 2022年の活動

- ・2022年6月5日 参加者（スタッフ）：2人

西条・山と水の環境機構の山のグランドワークが主催で6月5日に実施された「ひろしま『山の日』県民の集い」にて、「ひがしひろしまモバイルミュージアム」展示ブースのスタッフとして2名が参加し、展示の補助を行いました。

- ・2022年7月31日 参加者（スタッフ）：2人

脱温暖化キャラバン IN豊栄 里山ネイチャーデイキャンプにおいて2名が里山探検のガイド役として参加し、参加者に身近な生物と触れ合う機会を提供しました。

- ・2022年10月23日 参加者（スタッフ）：2人

エコネットが主催の「みんなでビーチウォーク in 安芸津木谷」にて、2名が参加し、清掃活動と海の生き物の観察会を行いました。



里山デイキャンプ in 豊栄 での里山探検の様子



## 2023年に予定している活動

これまでと同じく、「地域みなさんに身近な自然に親しんでもらう」、「生きものの住み家を守る」ことを活動の軸に、学生ならではの形で地域の自然と住民をつなぐ様々な活動に取り組んでいきたいです。2023年は龍王山や黒瀬川水系の生物調査や観察会などを通して、地域の自然の魅力発信に努めます。

住所：〒739-8521 広島県東広島市鏡山1-7-1

広島大学総合科学部 中坪研究室

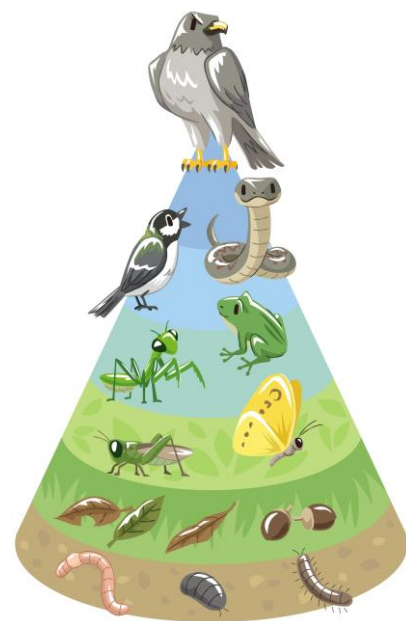
電話番号：082-424-6514

ホームページ：<https://nakatsubo-lab.jp/>

(中坪研究室HP)

入会方法：中坪研究室の学生までご連絡を下さい。

海の豊かさを守ろう！



陸の豊かさを守ろう！

## 組織の概要

広島大学総合博物館は、キャンパスをまるごと展示するエコ・ミュージアムです。キャンパスには、化石やはく製を常設展示する博物館本館のほか、キャンパスから出土した土器や石器などの埋蔵文化財や学部の特色ある研究を紹介する「サテライト館」、さらにキャンパスを探索し、様々な動植物と出会える自然散策道「発見の小径」があります。

## これまでの活動

開館（2006年）以来、キャンパスの豊かな自然を利用したフィールドナビ（野外観察会）を87回（2022年12月時点）開催してきました。様々な自然を使ったネイチャーゲームに加えて植物や生き物の観察会を行い、園児から大人までたくさんの方々に参加していただいています。また、博物館本館では、幼稚園、小・中・高・大学生、一般、外国人、障がい者など年間約200件の団体利用があります。スタッフや学生による展示解説は大変好評です。

## 2022年の活動

### ① 第22回ふむふむギャラリー「生き物のカタチ展」

総合博物館本館：2022年2月22日（火）～2022年4月23（土），  
2022年5月6日～2022年7月16日（土） 来館者総数：2,707名

東広島市立美術館：2022年4月26日（火）～2022年5月1日（日）  
来館者数：1,134名

東広島市豊栄支所：2022年7月23日（土）～2022年9月11日（日）  
企画展来館者数：2,442名

内容：「生き物のカタチ」に注目し、そこからわかる「進化」，「機能」，「人とのかわり」の3つテーマをもとに展示を行いました。この展示は、当館学生スタッフ「HUMs」による4回目の企画展示であり、今回は大学構内だけでなく市立美術館や豊栄支所での展示も行いました。学生たちが実際に展示解説を行うことで、話す側・聞く側双方にとっての良い学びの機会となりました

- ② 第81回フィールドナビ「ネイチャーゲームで遊ぼう！！春編」  
第86回フィールドナビ「ネイチャーゲームで遊ぼう！！秋編」  
春編：2022年5月14日（土） 参加者21名（抽選）  
秋編：2022年10月15日（土） 参加者52名  
場所：広島大学東広島キャンパス  
内容：毎年春と秋に行っているフィールドナビで、今回も広島県  
シェアリングネイチャー協会の方々に講師を務めていただきました。  
来場者には広島大学東広島キャンパスの自然を体感しながら、  
いろいろな遊びやゲームにチャレンジしてもらいました。

- ③ 第14回企画展「県央に自然史博物館がやってくる！？」  
2022年7月23日（土）～2022年9月11日（日） 来館者2,442名  
場所：東広島市豊栄支所  
内容：東広島市（Town）と広島大学（Gown）が協働する  
「Town & Gown office」のコンプロジェクトとして、豊栄支所  
の遊休スペースを活用した企画展を開催しました。「オオサン  
ショウウオがいるらしい」「生き物のカタチ」「昆虫の世界」の3  
つの展示ゾーンに加えて、大学生が常駐して子供たちに五感を  
使った学びを経験してもらおう「生き物寺子屋」という一室を用意  
しました。また以下の関連イベントを毎週末に開催しました。期  
間中多くの方に来場いただきましたが、リピーターが想定以上に  
多く、自然史に触れ合える場の必要性を実感しました。

関連イベント①：

企画展オープニング記念イベント・第74回公開講演会「里山の宝物オオ  
サンショウウオの今と未来」+ギャラリートーク

2022年7月24日（日） 参加者73名

場所：豊栄生涯学習センター

関連イベント②：

スタンプラリー特別版！「わくわく！里山デイキャンプin豊栄（エコネッ  
トひがしひろしまコラボ）」

2022年7月30日（土）

場所：小石川りんご園

関連イベント③：

豊栄図書館主催『チャレンジ！調べる学習「オオサンショウウオを調べよう！」』

2022年7月31日（日）・8月6日（土） 参加者各5名

場所：豊栄生涯学習センター

関連イベント④：

第82回フィールドナビ「100均グッズで昆虫標本を作ろう！」

2022年8月7日（日） 参加者30名（抽選）

場所：豊栄生涯学習センター

関連イベント⑤：

第83回フィールドナビ「里山の植物と私たちの暮らし」

2022年8月11日（木・祝） 参加者16名

場所：豊栄生涯学習センターなど

関連イベント⑥：

ひらめき☆ときめきサイエンス「考古学のなかの科学～歴史・文化を解き明かす同位体分析・動物遺存体～」

2022年8月20日（土） 参加者50名

場所：豊栄生涯学習センター

関連イベント⑦：

第75回公開講演会「ゆるキャラとオオサンショウウオ」

2022年8月27日（土） 参加者48名

場所：豊栄生涯学習センター

関連イベント⑧：

第84回フィールドナビ「さわって、さがそう！いろいろなカタチ」

2022年9月3日（土） 参加者29名

場所：豊栄生涯学習センターなど

関連イベント⑨：

第85回フィールドナビ「東広島エコミュージアムツアー」

2022年9月10日（土）・11日（日） 参加者15名

場所：西条駅周辺・豊栄町など

#### ④ 第87回フィールドナビ「葉っぱと木の実の観察会」

秋編：2022年11月12日（土） 参加者20名

場所：広島大学東広島キャンパス

内容：2021年度に引き続き、当館公認学生ボランティア団体であるキャンパススチューデントレンジャー（CSR）が企画・講師を務めたフィールドナビを開催しました。紅葉の進んだ学内の木々をめぐり、それぞれの木の葉っぱや木の実の特徴を聞きながら、楽しく歩くことができました。





© Hiroshima University Museum

## 2023年に予定している活動

2022年に引き続いて、東広島市と協働した出張展示を行う予定です。その始まりとして、2023年2月5日には、2022年度企画展「県央に自然史博物館がやってくる!？」の振り返りとなるシンポジウム「県央地域の現在（いま）と未来」を開催します。また、当館の学生スタッフ達による新たな企画展示やフィールドナビも開催予定です。広島大学内だけでなく、東広島市、さらには広島県全域の方々にお楽しみいただける博物館活動を行って参ります。是非お気軽にご来館ください。

《所在地・連絡先》

〒739-8524

広島県東広島市鏡山1-1-1

TEL 082-424-4212

ホームページ

<https://www.digitalmuseum.hiroshima-u.ac.jp/~humuseum/>

SNSなど：Twitter [https://twitter.com/hirog\\_humuseum](https://twitter.com/hirog_humuseum)

## 組織の概要

「エコINNくろせ」は、平成18年3月に東広島市で最初の地球温暖化対策地域協議会として設立されました。環境にやさしい行動や思いが黒瀬町に宿り（INN）、次世代に良い環境を引き継ぐための活動を継続しています。

具体的には

- ①青少年育成を目的とした環境学習
- ②エコ農業のまちづくり活動
- ③地球温暖化防止呼びかけキャンペーンに取り組んでいます。



## これまでの活動

- ・農業体験学習（H18～継続中）
- ・エコクッキング講座（H18～継続中）
- ・黒瀬町健康福祉祭りへの出展（H18～継続中）
- ・自転車キャラバン隊行動デー（H18～継続中）
- ・エコINNくろせ講演会（H18～継続中）
- ・保光川ハウマッチ（H19～継続中）
- ・東広島生涯学習フェスティバル出展（H19～継続中）
- ・もみ殻クン炭作り（H21～継続中）
- ・竹炭作り・竹炭アート作り（H23～継続中）
- ・エコキャップ・プルタブ回収運動（H26～継続中）
- ・「エコINNくろせだより」の作成配布（H26～継続中）





## 2022年の活動

新型コロナ渦の為、個人活動のもみ殻クン炭作りと感染要望対応の一部活動のみ実施

①環境学習・出前講座	⑰	計画/実績	
・田植え体験		5月10日	16名
・エコクッキング(中黒瀬小1)		6月14日	中止
・稲刈り体験		9月9日	16名
・用水路見学		9月14日	22名
エコクッキング(黒瀬高校)		1月18日	26名



昔ながらの手植え体験、ココノエモチを植える。この後、稲刈り体験し、出来たモチ米で杵餅つき大会の予定

②炭作り	⑮		
・もみ殻クン炭作り		9月～2月	8名
・竹炭アート作り(黒瀬健康福祉祭りにて)		10月25日	中止



稲作に必要な水がどのように流れてくるか？昔はどのような苦労があったか？用水路の機能と働きを体験する。

③講演会	⑰		
講演会(春)：松尾陽子氏		3月21日	42名
講演会(秋) 金田晋氏		10月15日	32名
・保光川ハウマッチ(ミニ講演)		7月25日	中止



モミ殻クン炭の効能をPRし、クン炭作りの促進。クン炭機の貸出を行い、新規者を増やしたい。見学のOK,実施講習もOKです。現在、久井と世羅地区とも連携推進中。



- ・小学生を対象とした環境学習については、先生たちと「コロナの状況・対策方法」を都度協議しながら進めた。
- ・エコクッキングなど食事を伴う活動は中止した。
- ・田植え体験、用水路見学は実施できた。
- ・もみ殻クン炭作りは、個人作業であり例年通りの活動が出来た。
- ・12月時点では、8名の方がクン炭機を利用し合計170回クン炭作りを行った。
- ・もみ殻クン炭機が老朽化で、毎年機械を修理を行っている。

## 2023年に予定している活動

<活動テーマは昨年とほぼ同じ>

<連絡先>

〒739-2622 東広島市黒瀬町乃美尾573

電話番号 090-2800-0687

メールアドレス ekoinnkurose@gmail.com



## 組織の概要

ひがしひろしま環境家族は「地球温暖化対策の推進に関する法律」に規定されている地球温暖化対策地域協議会として、日常生活における温室効果ガスの削減を目指し親と子を中心に家庭内の温暖化の抑制・防止する生活の推進を目的に誕生しました。

「子や孫の世代に持続可能な地球環境を残そう！」を目標に活動しています。

## 2022年の活動

1.古民家スペースshanti+jamと共同開催で「みみずちゃんとホーリーバジル」を開催しました。

当会の小池事務局長より「循環と農と肥料」という演題でお話を聞き、続いてミミズコンポストの販売をされている光和商事の久保さんよりミミズコンポストについて仕組みや使用方法・ミミズの生態などについてもお話を伺いました。

その後不老不死の霊薬とも言われる「ホーリーバジル」の植え付けをみんなで体験しました。

**JUST A MEMO**

つくる・つたえるの日 &  
エシカルラポ（ひがしひろしま環境家族）  
合同イベント

循環を伝えたい奇跡のコラボ

**みみずちゃんとホーリーバジル**

2020年7月10日(日)

場所：Shanti +jam  
スケジュール  
9:30 集合  
10:00 ひがしひろしま環境家族 総会  
11:00～ つくる・つたえるの日企画

- 11:00 循環と農と肥料の話（小池事務局長）
- 11:15 みみずちゃんはSDGs（光和商事株式会社 久保さん）
- 12:00 ホーリーバジルの話（Shanti +jam 矢中）と植え付け
- 12:30 お茶を飲んで以後フリータイム（16時終了）  
ミミズコンポストについて質問コーナー  
自由に畑遊び

16:00-16:30 撤収

**JUSTIN SINCLAIR**  
justinsinclair@email.com | +1 829 3783 9283



第20回ひろしま山の日県民の集い 東広島会場出展

・2022年6月5日（日）参加者 小学生60人

里山の恵体験教室

- 1.里山の恵を学ぶ（みつばちの生態について学ぶ）
- 2.虫バイバイスプレー作りとクイズ

小学生にみつばちの生態についてお話をし、クイズを出題しました。

その後、虫除けスプレーを天然のアロマオイルを使って手作りしてもらいました。

虫を殺すのではなく、近づかないようにすることで、生物多様性を学んでもらいました。午後は大学生にも体験してもらいました。



## 2023年に予定している活動

自然とともに環境に良い暮らしを提案する活動をしていきます。  
2023年2月に映画「いただきます2」を上映予定。

《所在地・連絡先》

〒739-8601

広島県東広島市西条栄町8番29号

東広島市役所生活環境部環境先進都市推進課内

TEL 082-420-0928（環境先進都市推進課）

E-mail [higashihiroshima5@gmail.com](mailto:higashihiroshima5@gmail.com)

## 組織の概要

平成27年7月豊栄町に新しい農業を中心とした会社として産声をあげました。地域の皆様と明るく元気で魅力ある地域づくりを目指しています。

お米作りを中心とした農業を展開することで持続可能な農林業の実現を志しています。

担い手育成にも重点を据え、I・Uターンをしてもらえるよう努力しています。

## 2022年の活動

## &lt;里山整備&gt;

休耕田に隣接する里山の木を有効活用するために、エコネットひがしひろしまと共催で「豊栄薪づくりクラブ」を立ち上げました。

2022年11月～2023年3月まで10回開催  
現在の参加登録数（12家族）

## メリット

- 薪を安価に調達できる
- 里山の保全
- 害獣対策
- 薪ストーブユーザーの交流
- 耕作放棄地の利活用
- 関係人口が増える



### 豊栄薪づくりクラブ 参加者募集のお知らせ

エコネットひがしひろしまでは、「薪づくりクラブ」を設立し、豊栄の里山保全と再生可能エネルギーの活用として薪ストーブユーザーの支援を行います。みんなで協力して薪を作り、薪ストーブユーザーの輪も広げたいと思います。  
参加希望の方はエコネットひがしひろしま会員登録が必要です。

開催日： 11月13日・27日 12月4日・11日  
1月8日・15日・29日 2月12日・26日  
3月5日・12日  
(作業時間は昼食時間を含めて6時間くらいです。)

入会金：5000円(エコネットひがしひろしま年会費500円を含む)  
参加費：1日1世帯1500円(保険は各自で加入してください)

- チェーンソー・燃料は各自でご用意ください。
- エンジン式薪割り機1機があり、共同で使えます。

<作業内容>  
予め切ったある樹木の枝落としとして玉切にする→薪割り機で割る(希望者)→持ち帰る  
自分が作業した分の薪を持って帰れます。  
車に積み残した薪は後日持って帰ることも可能です。

<申し込み・お問い合わせ>  
メールに「薪づくりクラブ入会希望」と書いて、お名前・ご住所・電話番号をお知らせください。

エコネットひがしひろしま事務局：東広島市環境先進都市推進課内  
E-mail: go.eco.me@gmail.com TEL: 082-420-0928

<里山デイキャンプin豊栄>

エコネットひがしひろしま主催の行事に協力し、飲食&販売ブースを出展しました。

飲食はこい地鶏を使った焼き鳥や、地元の食材を使ったハンバーガー、トムミルクの牛乳とりんごを使ったスムージーなどを販売し、豊栄の豊富な食材をPRし地産地消に努めました。

## 2023年に予定している活動

昨年度同様に①荒れ地開墾

②子供を対象とした鶏と水田の体験を増やす。

③貸与山林事業山林の整備を兼ねた薪の調達をする。



<<所在地・連絡先>>

〒739-2313

広島県広島県東広島市豊栄町清武11367

TEL 082-432-2215

ホームページ <https://www.kamo-pj.com>

## 組織の概要

当社では、住宅の施工と販売・住宅団地の造成と販売・賃貸住宅の施工販売と管理、またリフォーム事業や介護保険事業・サービス付き高齢者向け住宅事業など事業の多角化を図っております。企業理念に「住まいづくりを通して地域社会に貢献します。」を掲げ、地元である広島に貢献していきたいと思っております。

### ■ ワンストップ型サービスのご提供

地域の皆さまが住まいを建て、ずっと暮らしてゆく上でのサポートを一貫してお手伝いするため、私たちは注文住宅、土地有効活用のお手伝い・不動産売買事業、メンテナンスサービスを展開し、三位一体のワンストップ型サービスを提供致します。

### ■ 地域ファーストコールビルダー

「建ててからが本当のお付き合い」という考えのもと、本当の意味の地域密着企業を目指し、アフターサポートはもちろん、住まいに関することなら日興ホームに聞いてみよう！と思っ頂けるような「地域ファーストコールビルダー」を目指してこれからも邁進して行きます。

## 2022年の活動

### ■ SDGsの取り組み

・ホームグループでは、これまで取り組んできた社会課題を解消しながら新たなビジネスモデル形成を図り、発展を目指していく活動を整理するとともに、世界全体の開発目標であるSDGsとも連動させた目標設定を行い、社会に向けて宣言いたします。

### ■ アップサイクル活動

・昨年に引き続き、建築廃材のブルーシートを再利用したバッグを「工房こどもノカ」の吉田奈緒子様に製作を依頼し、ご契約者様との打合せ資料バッグとして提供させて頂きました。お客様の中にはブルーシートを再活用する取り組みをご存じの方も多く、この活動に対して、非常に共感していただきました。SDGsを掲げている当社にとって、建築廃材を削減できることは地域社会や環境面にも貢献できる取り組みとして効果がありました。



建築廃材のブルーシート  
を再利用したご契約者様  
との打合せ資料バッグ

## ■コンポスト普及活動

・ 建築廃材のブルーシートで作成したコンポストバッグを用いて、コンポストの意義や土づくりの方法など、講師を招いてワークショップを行いました。

日時：2022年7月29日

参加人数：8組



## ■SDGs 実践企業の講義

SDGs 実践企業として、近畿大学の「東広島学」という講座で、日興ホームの取り組みや東広島に根差した活動、SDGsの取り組みについてお話をさせて頂きました。日時：10月26日

東広島学：東広島市と近畿大学との連携により、近畿大学工学部の正規科目（教職課程必須科目）として実施します。東広島市生涯学習推進計画に基づく、大学や試験研究機関等と連携した講座です。



## 2023年に予定している活動

- ・引き続き、建築廃材のブルーシートのアップサイクル活動を進めていきます。
- ・ブルーシートに限らず、建築で余った端材を地域の活動やイベント、保育園、幼稚園、小学校での図工や創造活動に活用していただきたいと考えています。



### 《所在地・連絡先》

〒739-0041

広島県東広島市西条町寺家3847-2

TEL 082-421-0055 FAX 082-421-0133

0120-250-236

ホームページ <https://www.nikko-home.com/>



ホームページ



Instagram



youtube



LINE



## 組織の概要

私たちは、酒づくりの文化や産業を育んできた水をいつまでも享受し、美しいふるさと次の世代に手渡すことを使命として、森、川、池、田畑など、山と水を取り巻く環境の保全・育成に寄与することを目的としています。

そのために、市内の企業、学校、団体、市民の方々に参加いただき、下草刈りや除伐など山の手入れ作業を行い、また、水質、水量、土壌、植生などの調査研究活動や環境学習などの支援を行っています。



## &lt; 普段の活動 &gt;

憩いの森公園を活動の拠点として、産官学民連携のグラウンドワークを行っています。

具体的には、年4回の森林整備、年1回の水に関する学習会を開催。企画段階から専門家の指導を得て、地下水保全効果、作業の安全性確保、事後評価を確実に行うようにしています。

また、地元小中高校での出前授業、調査研究、シンポジウムの開催、視察受け入れなどを行っています。

## 2022年の活動

## ①第95回山のグラウンドワーク

3月6日（日）参加者70名（スタッフ含む）

憩いの森公園内の森林で地下水保全を目的とした森林整備を行いました。



②第96回山のグラウンドワーク

6月5日（日）参加者189名（スタッフ含む）

憩いの森公園内の森林で地下水保全を目的とした森林整備を行いました。



③第18回水のグラウンドワーク

7月23日（土）参加者80名（スタッフ含む）

憩いの森公園内の溪流で水質保全を目的とした学習会を行いました。



④20周年誌出版記念シンポジウム「SDG sから見た東広島の水環境」

8月11日（木）参加者120名（スタッフ含む）

総合福祉センターにて、機構設立20周年誌の出版を記念して、最新の研究情報を加えたシンポジウムを開催しました。



⑤酒まつりでのゲストルーム開設

10月8日（土）～9日（日）参加者延べ50名（スタッフ含む）

賀茂泉館・泉ホールにて、活動の展示と解説を行い、活動への参加を呼びかけました。



⑥第97回山のグラウンドワーク

10月15日（土）参加者91名（スタッフ含む）

憩いの森公園内の森林で地下水保全を目的とした森林整備を行いました。

⑦賀茂高校総合学習への協力

11月17日（木）参加者210名（スタッフ含む）

賀茂高校にて総合学習「東広島を支える森と水の話」を実施。前垣理事長の講話の後、国際学院大学竹野教授による水質実験を体験。



⑧第98回山のグラウンドワーク

12月3日（土）参加者80名（スタッフ含む）

憩いの森公園内の森林で地下水保全を目的とした森林整備を行いました。

## 2023年に予定している活動

3月5日（日）には第99回山のグラウンドワークを開催する予定です。グラウンドワークは軌道に乗り、市民グループや企業、学校など新たな参加者も増えつつありますが、一方で安全管理を行うリーダー的存在が慢性的に不足しています。今後は、市役所農林水産課や賀茂地方森林組合などと連携し、新たなリーダーの発掘と育成のための研修会などを行う必要があると考えています。

また、森林整備による地下水保全効果は見えてきましたが、水田耕作地の減少や都市化による地下水涵養力の低下も明らかになってきました。今後は、より効果的な地下水保全対策を講じるために新たな方策を講じる必要があると考えています。

### 《所在地・連絡先》

〒739-0012

広島県東広島市西条朝日町6-51

TEL 082-421-8032

FAX 082-422-2668

ホームページ <http://www.kamon.ne.jp/~yamamizu/>

E-mail [yamamizu@kamon.ne.jp](mailto:yamamizu@kamon.ne.jp)



## 組織の概要

## “敷地内自立型家づくり50年計画”

私たちは平均すれば御年80歳の後期高齢者夫婦です。私たち家族5人は平成元年（1989年）に黒瀬町南東部の茂助山山麓に自宅を建て住み始めました。周囲は里山、数軒の農家、田畑に囲まれた閑静で四季折々の自然の変化を楽しめる場所です。自宅建設にあたって私たちが留意した点は、地域や地球の環境に負荷をかけない生活をすることでした。そこで、私たちは生活に必要なものはできるだけ自分たちで賄える「敷地内自立型の家づくり」を目指しました。当時私は50歳でしたので、100歳までに家づくりを完成させることにし、「敷地内自立型の家づくり50年計画」を作りました。家づくりのローンと食べ盛りの息子たち3人を抱えた親たちには資金の余裕がありませんでした。そのため、将来必要となる設備はできるだけ自宅建設の計画に組み込み、後付けできる設備などはお金が貯まってから整えることにしました。以来33年、食料の自立以外は、ほぼ目標を達成できていると考えています。

## &lt; 普段の活動 &gt;

CO2排出量は-674kg/年、全光熱水・燃料費は月平均10,323円

具体的には、

①水は基本的に井戸水で賄い、廃水は合併処理槽で処理後手製の土壌浄化槽で処理し、敷地内に浸透して排水は一滴も敷地外へは出していません。

②家の断熱を強化し、冬の暖房はパッシブソーラー（冬の陽ざしが室内によく入るように設計）、薪ストーブと太陽熱温水器を活用しました。エアコンはありませんでしたが夏は涼しく、真冬でも寒いとは思いませんでした。私はこれを構造的省エネと呼んでいます。家の断熱強化は、これから自宅を立てられる方には是非とも勧めたいです。

## 2022年の活動

・ **毎朝の業務**：原則として毎朝8時に数分間過去24時間の太陽光発電量、日売電量、日販売電力量、日購入電力量、日電気使用量、日自給量、自給率を算出・記録

・ **10月の2週間ほど**：薪ストーブの設置・慣らし燃焼。旧ストーブのベランダへの移設・補修、ストーブの設置台作成

・ **薪ストーブの管理**：11月～4月の薪ストーブ使用時は、毎朝灰捨て、室内への薪の運搬、薪の燃焼などのストーブの管理。煙突の掃除は通常年に1～2回。

・ **井戸水揚水ポンプのメンテナンス**：3カ月に1回ほど主に貯水タンクの圧力調整を行う。これを放置すると圧力スイッチが劣化し、交換する必要が出てくる。

・ **薪の調達・薪づくり**：毎年1～3月に樹木の伐採・切断、薪割り、薪小屋への積込み。

・ **太陽光発電装置・太陽熱温水器**：通常はメンテナンスフリー。一昨年は太陽光発電装置のパワーコンディショナー（約20年間使用）の出力が低下し、新品に交換した。出力が大きく増加し、パワーコンディショナーは出力が低下し始めたら早めに交換すべきことを理解した。なお、ソーラーパネルの発電量は設置時程度に回復し、発電パネル自体の経年劣化はかなり少ないと思われた。

・ **農作業**：敷地内で夫婦二人分の年間必要栄養素量を確保すべく、作物栽培の改善策を実施中。目標を達成するにはあと数年間は必要と考えている。



ベランダに設置した旧薪ストーブ  
前面の鉄板の留めねじが破損したストーブを補強し、ストーブ設置台を作成してベランダに設置。煙突は、室内のストーブと連結。春～秋に料理用として使う予定。

③2階の屋根は片側全面を南向きとして太陽光発電パネルを設置する心算でしたが、自宅建設時は装置が非常に高価（家1軒が建つくらい）で私たちにはとても手が出ませんでした。2000年になってNEDOの補助金が当たり、3.6kWの装置を付けました。でも現在の4倍くらいの値段だったと思います。その後もNEDOの補助金の申請を続け、家の断熱強化（主にペアガラス窓の設置）、省エネ・省資源機器（プロパンガス・石油→電気）、ソーラーパネルの増設（+3.4kW）などの設備費・工事費の1/3の補助を受けました。2022年度は薪ストーブを更新したため、東広島市から補助金10万円をいただきました。

これらの補強により、自宅から排出する二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）量は2013年にカーボンマイナスを達成して以降10年間カーボンマイナスを継続中です。2022年度のわが家の主な省エネデータを示します。

- ・年間発電量：7,572kWhで5年ぶりに7,500kWh/年を超えました。
- ・年間CO<sub>2</sub>排出量：電気；-1426kg、ガソリン（自動車2台・各種農機具）；729kg、水道；23kgでした。
- ・年間光熱水・燃料費支出：電気；92,974円、ガソリン；50,067円、水道；19,278円、売電収入：38,438円でした。

正味の年間光熱水・燃料費は123,881円で、電気とガソリンの高騰により昨年より25,692円増加。

- ・エネルギー自給率：エネルギー生産量(48,569MJ) × 100 / エネルギー消費量 (50,088MJ) = 97%

エネルギー生産量 = 発電 (27,269MJ) + 太陽熱 (6,300MJ) + 薪 (15,000MJ)

エネルギー消費量 = 電気(17,917MJ) + 太陽熱(6,300MJ) + 薪 (15,000MJ) + ガソリン(10,871MJ)

ただし、電気：4,977kWh(3.6MJ/kWh)、太陽熱温水200L（15°C→45°C）/日 × 250日、薪：750kg × 20MJ/kg、ガソリン：314.2L(34.6MJ/L)。電気のCO<sub>2</sub>排出係数は0.555kgCO<sub>2</sub>/kWh(環境省暫定値)



手作りの薪小屋  
一部屋で一冬分以上の薪を保管できる。  
薪は近隣の里山を管理した際に伐採した  
樹木をいただき、薪として利用している。  
薪ストーブは、そのぬくもりが心地よ  
く、手放せそうにない。薪づくりがで  
きる間は、この薪小屋も活用するつもり  
である。

## 2023年・今後予定している活動

### ① 敷地内自立型の家づくり50年計画

80代になると体力が衰えてきており、従来のように働くことが難しくなってきた。計画の期間を50年間としたが、90代になると山仕事や畑仕事は困難になると思われる。そのため、計画を10年早め、80代のうちに大方の目標を達成できるように計画の変更を検討している。今までの30年あまりの作業の結果、食料の自立以外の目標はほとんど達成できているので、今後は食料の自立に向けて時間、資源、労力を集中させていきたいと考えている。

その他の目標については、従来通り、改善を図りながら目標水準を維持していきたい。新規の技術の採用や体力の変化に応じた見直しも必要になると思われる。

<所在地・連絡先>

〒739-2502

東広島市黒瀬町国近1703

TEL 0823-82-8184

入会方法：同様の志を持たれている方たちとは、今後連携していきたいです。

メール (tadando@hiroshima-u.ac.jp) か電話でご連絡ください。

会費：なし

## 組織の概要

八本松住民自治協議会は、八本松小学校区の18の自治会が参画し設立され平成25年4月1日活動を開始しました。市内に48ある協議会の一つです。

部会は自治会・環境・福祉・防災・文化・体育振興・青少年育成・防犯交通部会から組織されています。

環境部会は環境美化の他、廃棄物減量化の推進や温暖化対策などの研修や講演会・映画観賞を行っています。

## 2022年の活動

- 生ゴミ処理機貸し出し事業  
生ゴミ処理機を3台6ヶ月間貸し出しをしています。体験してもらうことにより、ゴミの減量化に関心をもってもらうことを目的としています。
- ウォーキング&ゴミ拾い  
八本松では多くの方が朝夕ウォーキングや散歩をしています。
- 「きれいなまちづくりキャンペーン」に協力し、自治会単位で清掃作業をしていただくように企画しました。3年ぶりとなった今回のキャンペーンでは参加者が前回の3倍位以上となりました。
- 再生可能エネルギーをテーマとした映画「おだやかな革命」を上映し、50人近くの方に観賞いただきました。



エコパークの見学





きれいなまちづくりキャンペーン



地域センターの美化

## 2023年・今後予定している活動

2022年の活動を2023年も継続します。ウォーキング&ごみ拾い活動のボランティア登録者目標を80人に増やすように啓発していきます。

《所在地・連絡先》

〒739-0144

広島県東広島市八本松南2-1-1

TEL 082-428-3061

ホームページ

<https://pc.tamemap.net/3421251/activities/34212510015>

E-mail kouhou.620.hachihonmatsu@gmail.com

# 13

## なんじゃもんじゃの会

### 組織の概要

2001年（平成18年）から活動を始めました。  
まだ会社勤めをしていた時、電線に支障がある樹木を3本伐採し、その樹木を利用して炭にし、小川にに入れて水の浄化を始めました。それから20年以上炭焼きをしています。  
竹炭は床下の湿気取り・脱臭に活用しています。  
小学生による炭焼き体験も実施しています。  
会員は約20人です。

<普段の活動>

会員が年間を通して黒豆・大豆・白菜・大根・小芋等の野菜作りをしています。

樹木や竹を伐採し、不要なものを取り除いて炭にして販売しています。竹炭・木炭を飾り物にしています。

里山の環境保山活動も行っています。

### 2022年の活動

日時	活動	参加人数
2月10日（木）	炭焼き	5人
3月20日（日）	炭焼き	6人
4月14日（日）	炭焼き	5人
4月23日（土）	田植え（こしひかり）	4人
5月4日（水）5日（木）	炭焼き窯修理	5人
6月19日（日）	黒大豆植え付け	8人
11月13日（日）	炭焼き	5人
11月30日（水）	小学校炭焼き体験	13人
12月8日（木）	炭焼き	4人



## 2023年・今後予定している活動

月1回程度の炭焼き  
米の作付け  
黒大豆・小芋の植え付け  
小学校の炭焼き体験

《所在地・連絡先》

〒739-0144

広島県東広島市八本松町吉川2039

村主武彦

TEL 090-8244-0151

入会方法：吉川地域の方で賛同いただける方

会費：なし

# 14

## 吉原振興会

### 組織の概要

吉原の天神嶽の麓に古くからエヒメアヤメの群生地があります。20数年前から地元の方の自宅周辺50アールにこの群生地があり、地元の方個人で保護活動をされていました。

地元の有志が集まり同好会を結成し、皆さんでこのエヒメアヤメを保護育成するようになって約10年。令和3年から住民自治協議会の吉原振興会が、エヒメアヤメ部を立ち上げ管理し現在に至っています。

自治協の計画でエヒメアヤメを保護・管理・育成と行い、毎年春にはエヒメアヤメ祭り、秋にはエヒメアヤメ群生地の環境整備、そして種の播種と育成研修会を行い、年計画で実行しています。

また、広報誌「天神」に掲載し広報に努めています。

< 普段の活動 >

このエヒメアヤメを吉原のシンボルフラワーにしたい。

又この花の種をポットに植えて家に持ち帰り水やり等の管理を行います。1年後大きく成長したら露地に移植し、2～3年後には紫の可憐な花が咲きます。

「吉原のどの家に行ってもエヒメアヤメが咲いている。」という状況を皆が夢見て地域の活性化の一助としたい。

### 2022年の活動

日時	活動	参加人数
3月上旬	役員会議「エヒメアヤメの里よしわらまつり」 広報誌の発刊	部長以下4名
4月24日 9:30～16:00	「エヒメアヤメよしはらまつり」開催	来園者120名
10月16日 13:00～15:00	環境整備・苗の移植・獣害対策金網設置・ 株周辺雑草採り	部員 20名
11月13日 13:30～15:00	エヒメアヤメ播種育苗研修会	一般41名部員15名 合計56名

## 2022年の活動写真



行事への参加を  
歓迎します。  
吉原振興会事務  
局にお問い合わせ  
ください。

## 2023年・今後予定している活動

昨年と同様の活動です。

特に、2023年は鹿等の食害を防ぐため、周囲を進入防止柵で囲みたい。これを実施するためには市民協働のまちづくり活動応援補助金を申請し、採用されることが必要です。（来年度申請予定）

《所在地・連絡先》

〒739-2315

広島県東広島市豊栄町吉原2235 吉原地域センター

TEL：082-432-2052

入会方法：住民自治協議会（吉原振興会）の部会です。

行事に参加の方は、事務局にお申し込みください。

## 組織の概要

昭和57年に設立し、会員約130名で構成する地縁団体で令和2年より法人格を持つ。

会の趣旨は、地域住民の親睦を図り、自主的な共同活動によって住民相互のふれあい、環境の整備、集会施設等の維持管理を行い、住みよい地域づくりを推進するなどに則って活動する事である。

総会を4月に行い、会長、副会長、会計、各班（5班）班長、女性部などで構成する推進委員会で運営する。

### < 普段の活動 >

地域住民の親睦を図り、自主的な共同活動によって住民相互のふれあい、環境の整備、集会施設等の維持管理を行い、住みよい地域づくりを推進するなどに則って活動している。

具体的には夏まつり、共同作業、互礼会などを実施している。また、地域の福祉活動、子供会、老人会活動に助成金を配布している。

## 2022年の活動

令和4年度【市民協働のまちづくり活動応援補助金】に楽々里山ライフ（ウオーキングコース整備）が採択され、ウオーキングコース中間地点に植物、昆虫類の生態系保全の為、ビオトープの整備を行った。（添付図のごとく池、湿地、草原の基盤を作った。）蛍の幼虫やカワニナは高屋町大畠の西原さんに提供していただき、隣接する水路に放流した。

ビオトープの整備作業については「地縁団体重兼を住みよくする会」が地元の（農）重兼農場及び(株)賀茂カントリークラブの協力を得て行った。(株)賀茂カントリー内の用地を利用し、会員の共同作業と協力隊有志で活動した。ユンボ、トラクターなどを重兼農場から借用した。

広大の塩路先生を訪問し、ビオトープ整備の基本を教わった。その後、現地で指導を続けていただいている。

小谷小学校の校長、教頭先生と面談し、来年6月ごろから小学4年生に水路整備作業などを体験してもらうことにした。

ビオトープ整備	5月10日	(有)賀陽建設と契約したが社長が体調不良となり、「地縁団体重兼を住みよくなる会」が地元の(農)重兼農場及び(株)賀茂カントリークラブの協力を得て行うことにした。		
	5月28日	草刈り	ビオトープ予定地	共同作業 7名
	6月17日	広大のビオトープを塩路先生の案内で見学した。ビオトープは予定地の自然を活かし、池などの整備を行うよう指導された。	広島大学	以下協力 作業 3名 3名
	7月1日	校長、教頭先生と小学生参加の面談をした。	小谷小学	1名
	7月3日	ユンボで池を掘った。	校ビオト	3名
	8月28日	トラクターで草刈りをした。	ープ予定	1名
	9月20日	トラクターで排水用の溝を掘った。	地	1名
	10月1日	ユンボと人力で排水用の溝を掘った。		6名
	10月15日	ユンボと人力で排水用の溝を掘った。用水用のパイプを設置した。		9名
	10月20日	ユンボで道を作った。		2名
	11月9日	ユンボと人力で排水用の管を埋め、道とした		4名
	11月28日	ユンボで道を作った。		2名
	12月10日	ユンボで排水溝と道を作った。		3名
	12月14日	ユンボで排水溝と道を作った。		3名
1月7日	ユンボで排水溝と道を作った。		3名	
1月10日	ユンボとトラクターで排水溝と道を作った。		3名	
2月1日	ユンボでヒューム管を埋めて道を作った。		3名	

### 【2022年活動の写真】



## 2023年・今後予定している活動

### 1. ビオトープ整備

添付図のごとくできた、池、湿地、草原の基盤をトラクターで耕し完成させる。

水路の整備は小谷小学校と共同で進める。

仮設トイレを設置する。

### 2. 2024年度以降は活用できるようにしたいが活用方法は検討中。



排水（土地を乾かす）ための溝で乾燥後は30cm幅の水路とする。

湿地 水田のように管理する。水をためて代掻きをしたり、乾燥させたりする。

草原 自然を保つが当面はリモートの草刈機で頻繁に刈込、葎を無くす。周囲に溝を掘り、葎の侵入を防ぐ。

歩道 パイプを埋めて水路を4箇所通し、溜池と池の用水、排水とする。

パイプ 溜池に外部の水路から用水を引く。地中に埋める。

### 《所在地・連絡先》

〒739-

広島県東広島市高屋町重兼410-1 福原新一郎

TEL：082-434-2754

入会方法：正会員は東広島市高屋町重兼に居住し本会の目的に賛同するもの。準会員は法人及び個人で、本会の目的に賛同するもの。

会費：年間3,000円



## 組織の概要

瀬戸内の穏やかな海に面した安芸津町木谷地域。東広島市への合併を機に、それまでの組織や諸団体を整理し、2006年4月に区長会を母体とした「木谷自治会」を設立しました。2009年からまちづくりに関するワークショップやアンケートなどを実施。高齢化サポートや環境対策など地域の課題をまとめました。2013年3月、将来目標を「人の和を大切に次世代へとつながるまち 木谷」と掲げ、木谷自治協議会が誕生。教育文化や環境衛生、防災安全など5つの部会を立ち上げ、魅力ある地域づくりに励んでいます。

## 2022年の活動

### 4/2 シロウオ観察会「シロウオとあそぼう」 ～木谷はっけん野あそび会～

木谷郷川に、春を知らせるシロウオの市場が始まる4月、シロウオの生態や川の様子を調べるために観察会を実施しています。2022年は総勢32名の親子が集まりました川に入り網でシロウオを捕まえ、その数を数えたり魚に触れたりしました。毎年リピーターが多く、木谷地域の自然の豊かさを体験した半日でした。



### 6/12 きれいなまちづくりキャンペーン（東広島市主催）

100名を超える住民が、通学路を歩きながら周辺のゴミを集めて木谷小学校に集合。「元々きれいな木谷じゃけん、ゴミはあまり落ちとらんかった」とは一住民の感想。それでもゴミ袋十数個のゴミが集まりました。



## 8/19 木谷郷川河口周辺で「カニカニ大調査」 ～木谷はっけん野あそび会～

木谷はっけん野あそび会の代表を務める古本敦子さんが講師となり、毎年行われる観察会。2022年は親子連れ18名の参加がありました。今回の調査は河口周辺に何種類のカニが生息しているかを調べることでした。捕獲したカニは12種類。カニの名前を調べ、その特色について学びました。珍しい種類のカニの生息も確かめることができました。木谷郷川を流れる水が栄養豊富であることの証拠だそうです。



## 8/19 木谷郷川河口周辺で「カニカニ大調査」 ～木谷はっけん野あそび会～

木谷小5年生を対象に、木谷地域の地質や植物の多様性を現地に学ぶ学習会を開催しました。鼻繰島を開催しました。鼻繰島とホボロ島には、自治協役員が操縦する船で渡りました。島では子どもたちがたくさんの生き物を見つけ歓声を上げていました。またどうしてホボロ島が小さくなっているかについても、学ぶことができました。



## 10/23 みんなでビーチウォークin安芸津木谷 (エコネット ひがしひろしまと共催)

海洋ゴミの実態と海の生物を観察することでその影響について考える催し。スタッフを含め総勢78名の参加者は3班に別れ地域センターから徒歩で出発。それぞれの活動場所で生物観察やゴミ拾いを行いました。軽トラック2台分を回収。気持ちのよい活動ができました。



〒739-2401

東広島市安芸津町木谷4127-2 木谷地域センター内

メール [kidani-k@city.higashihiroshima.hiroshima.jp](mailto:kidani-k@city.higashihiroshima.hiroshima.jp)

TEL 0846-45-0105

## 組織の概要

各種イベント等で生き物や標本を展示する「移動博物館」を通じて、身近な自然や生き物の面白さを伝えることを目的に活動しています。2008年から活動を開始し、2011年から現在の名称になりました。「半尾川の生き物展示」、「昆虫展」などの展示活動のほか、依頼があれば自然観察会や講演なども行っています。また、学校・博物館等への資料の貸し出しにも応じています。

これまでは「生き物」に関する活動が主体でしたが、今後は広く「環境」に関する展示を行っていきたいと考えています。

### < 普段の活動 >

日頃から展示用資料の収集につとめ、展示用生物の飼育・保存を行っています。

## 2022年の活動

### ① 半尾川の生き物展示

(第20回ひろしま「山の日」県民の集い)

2022年6月5日(日) 見学者 150名

場所：憩いの森公園

内容：第20回ひろしま「山の日」県民の集いのプログラムの一つとして、半尾川再生まちづくり倶楽部との共催で、龍王山を水源とする半尾川にすむ生物の展示を行いました。

### ② 広島大学総合博物館第14回企画展

「県央に自然史博物館がやってくる!？」への協力(資料貸出)

2022年7月23日(土)～2022年9月11日(日)

場所：豊栄支所

内容：昆虫展で使用する標本、工芸品等の貸し出しを行いました。

## 〈2022年の活動の写真〉



半尾川の生き物展示



昆虫展

## 2023年に予定している活動

2023年度も昨年に引き続き、広島大学総合博物館の企画展示に協力する予定です。その他の活動についても、依頼があれば、できる限り実施したいと考えています

住所：〒739-8521 広島県東広島市鏡山1-7-1

広島大学総合科学部 中坪研究室内

電話番号：082-424-6514

入会方法：現在のところ会員募集は行っていません